



株式会社テラプローブ 決算説明資料

2015年3月期 第2四半期

The background features a complex, abstract pattern of overlapping blue and cyan triangles and squares, creating a mosaic-like effect. The colors transition from deep blue on the left to lighter cyan and white on the right. A semi-transparent light blue horizontal bar is positioned across the middle of the page, serving as a backdrop for the title text.

2015年3月期 第2四半期 業績説明

今回の発表の概要

メモリ事業

- 前四半期に比べ台湾・国内ともに受託数量が増加し、売上高、セグメント利益とも増加

システムLSI事業

- テスト受託は国内・台湾子会社ともに前四半期よりも売上高が増加
- WLP・BUMP受託数量は前四半期に引き続き低調に推移

その他

- 青梅事業所の構造改革に伴い、特別損失約3億円が発生



前四半期期に比べ売上高、営業利益とも増加したが、純損益はマイナスに

2015年3月期 第2四半期 実績

(億円)

		前年同期比較			前四半期比較		
		1H/FY2013	1H/FY2014	YoY増減	1Q/FY2014	2Q/FY2014	QoQ増減
	メモリ	78.8	75.0	-3.8	35.2	39.8	4.6
	システムLSI	30.0	30.8	0.8	14.8	16.0	1.2
	その他	-0.9	0.8	1.7	0.3	0.5	0.2
売上高		107.9	106.6	-1.3	50.3	56.3	6.0
	メモリ	8.6	16.9	8.3	6.0	10.8	4.8
	システムLSI	-1.6	-5.7	-4.1	-2.8	-2.8	0.0
	その他	-6.3	-5.8	0.5	-2.9	-2.9	0.0
営業利益		0.7	5.4	4.7	0.3	5.1	4.8
営業利益率		1%	5%	—	1%	9%	—
当期純利益		0.3	-1.1	-1.4	-1.1	-0.1	1.0
当期純利益率		0%	-10%	—	-2%	0%	—

2015年3月期 上期実績増減分析

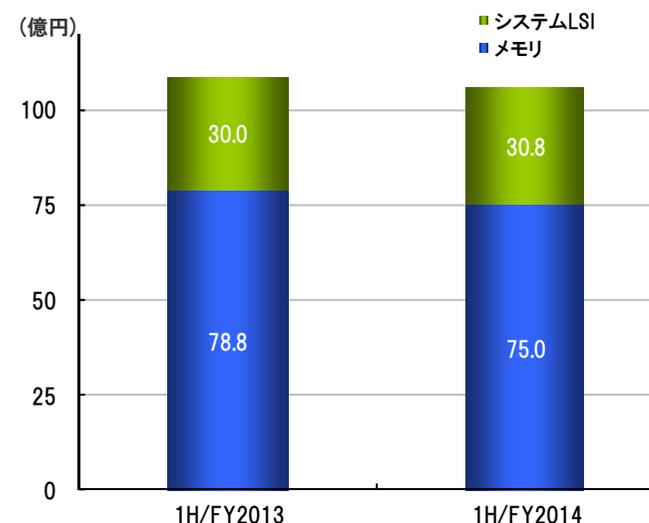
2014年度上期売上高実績(YoY)

<メモリ事業>

- ・ 受託数量の減少により売上高が減少

<システムLSI事業>

- ・ WLP・BUMPの受託は減少したものの、テスト受託が国内・台湾ともに増加し、売上高は微増



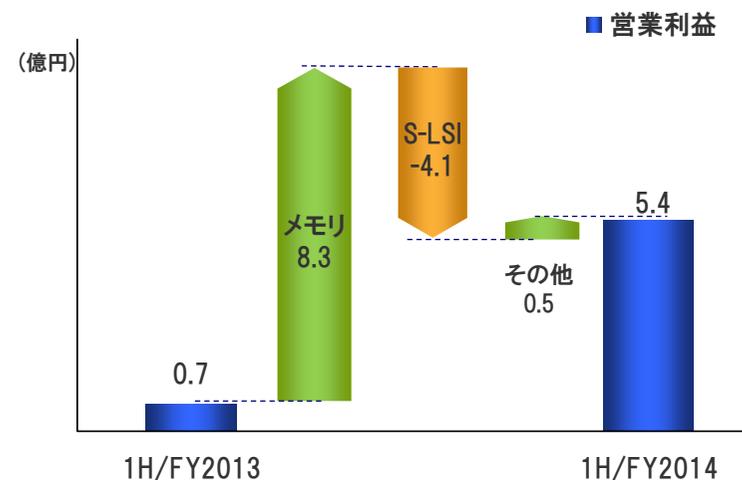
2014年度上期営業利益実績(YoY)

<メモリ事業>

- ・ 減価償却の減少などにより利益が増加

<システムLSI事業>

- ・ 台湾を中心にテスト受託の売上高は増加したものの、WLP・BUMP売上高減少により減益



2015年3月期 第2四半期実績増減分析

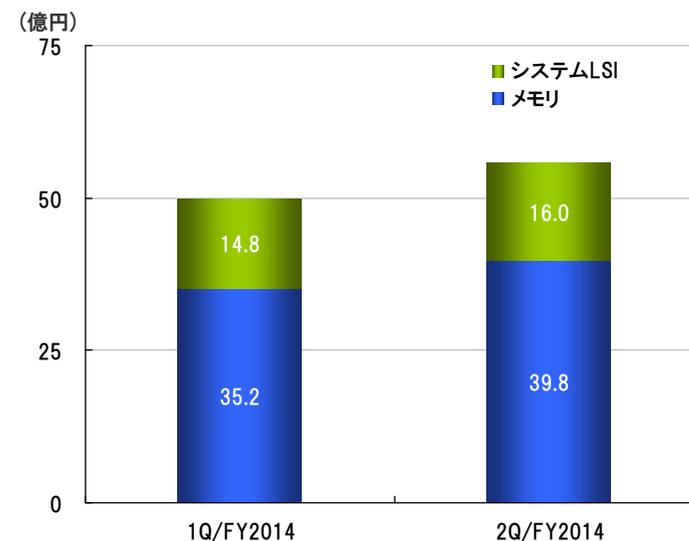
2014年度第2四半期売上高実績(QoQ)

<メモリ事業>

- ・ 国内・台湾とも受託増加により売上高が増加

<システムLSI事業>

- ・ テスト受託は国内・台湾とも売上高が増加したが、WLP・BUMP受託は低迷し、売上高は微増



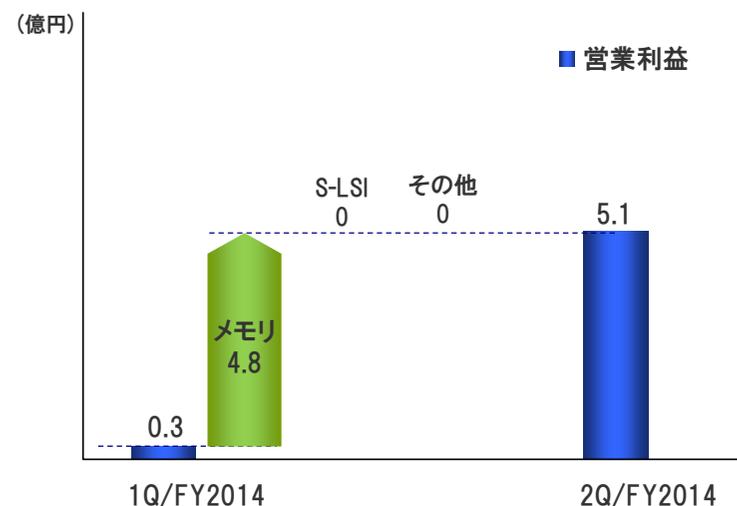
2014年度第2四半期営業利益実績(QoQ)

<メモリ事業>

- ・ 売上高の増加により増益

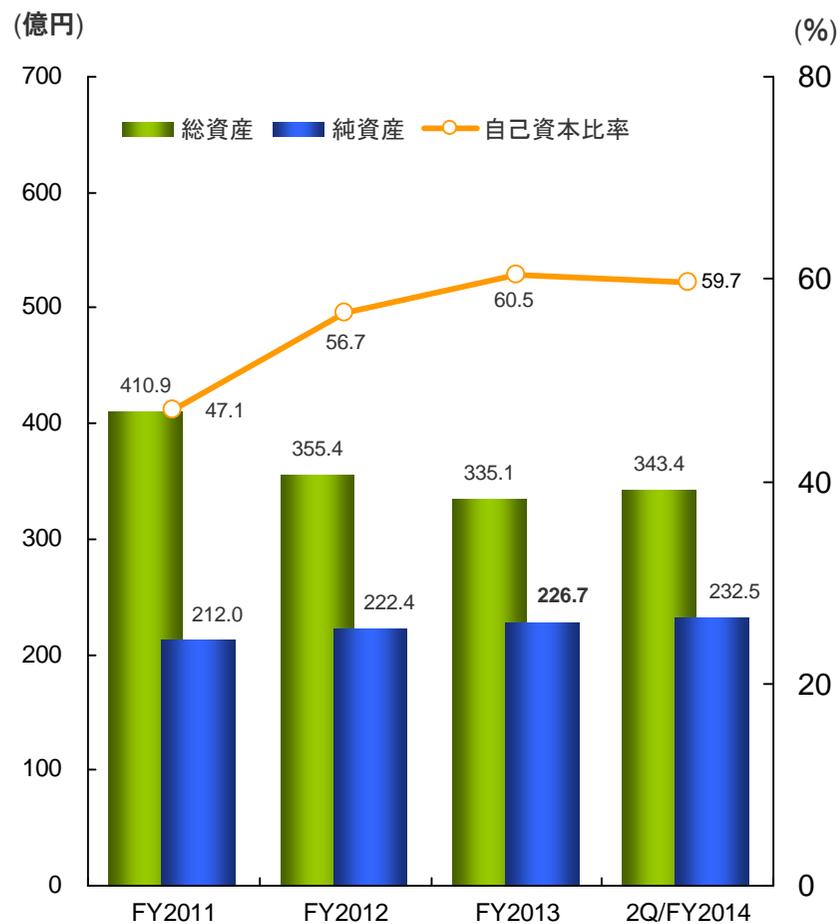
<システムLSI事業>

- ・ 売上高は増加したものの製品ミックスの変化により損益は横ばい

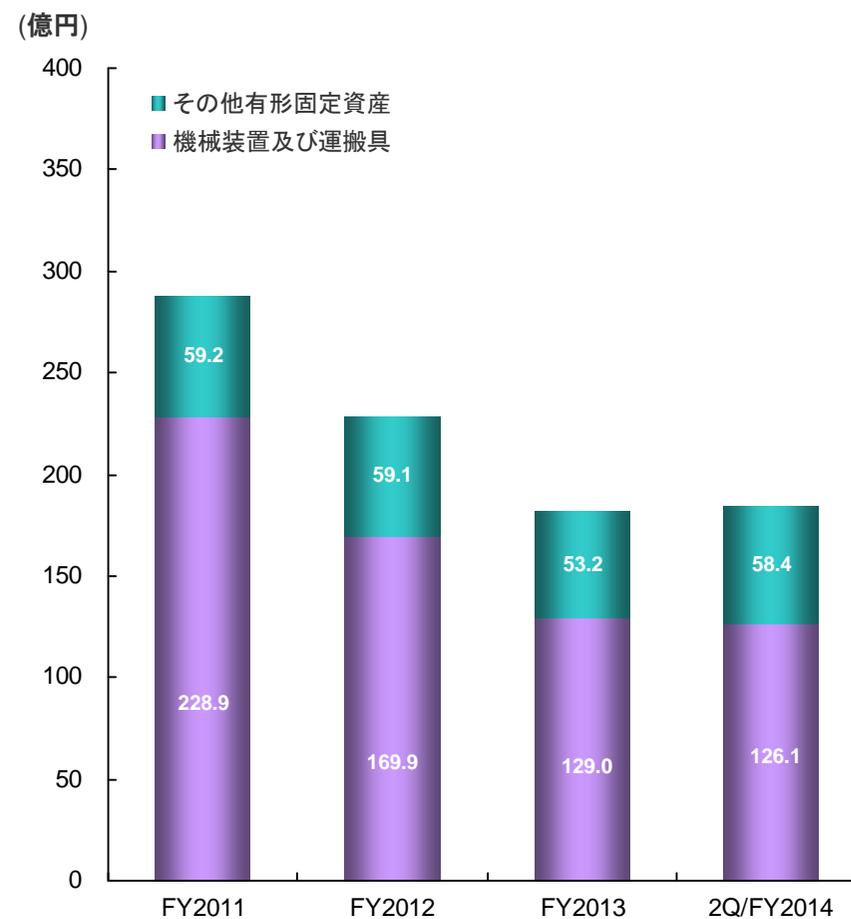


財務状況の推移①

総資産・純資産・自己資本比率

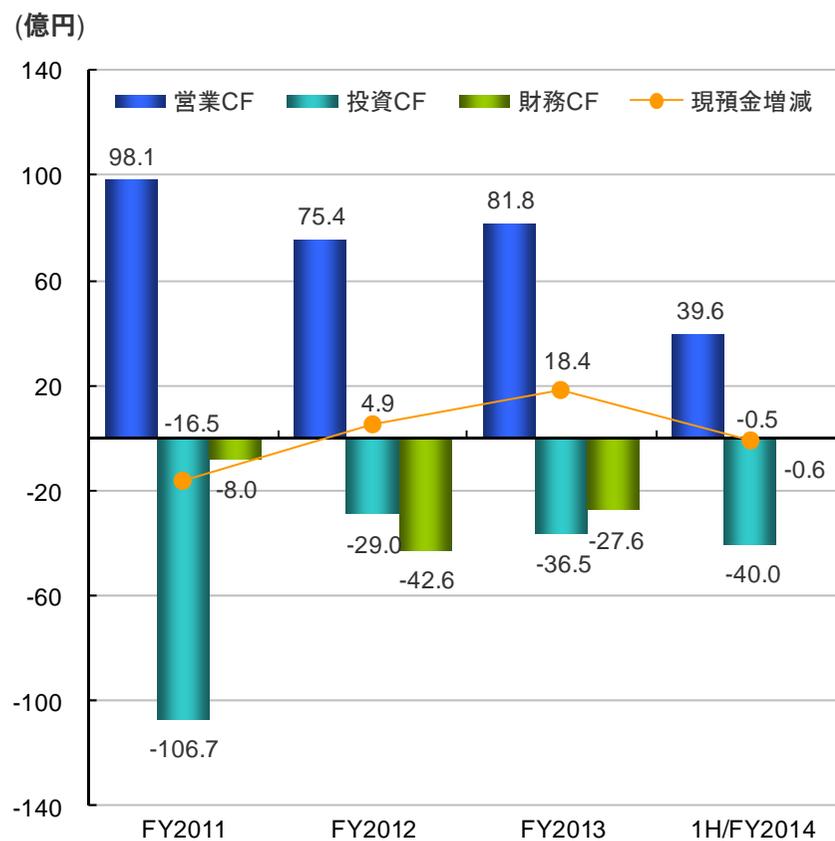


有形固定資産の推移

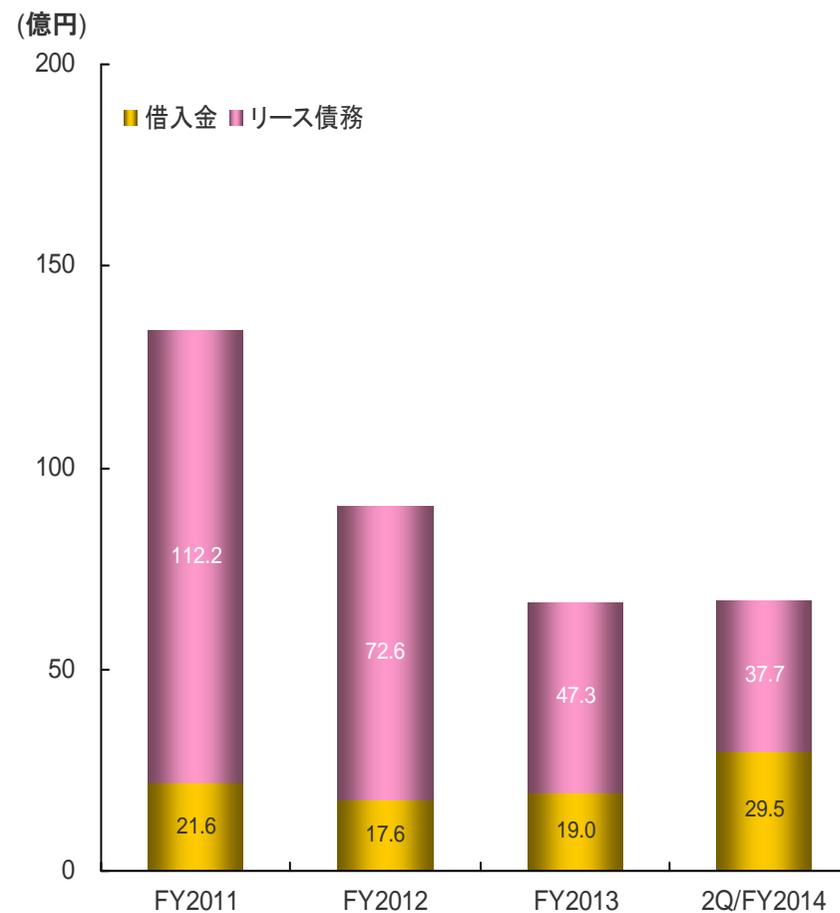


財務状況の推移②

キャッシュフロー

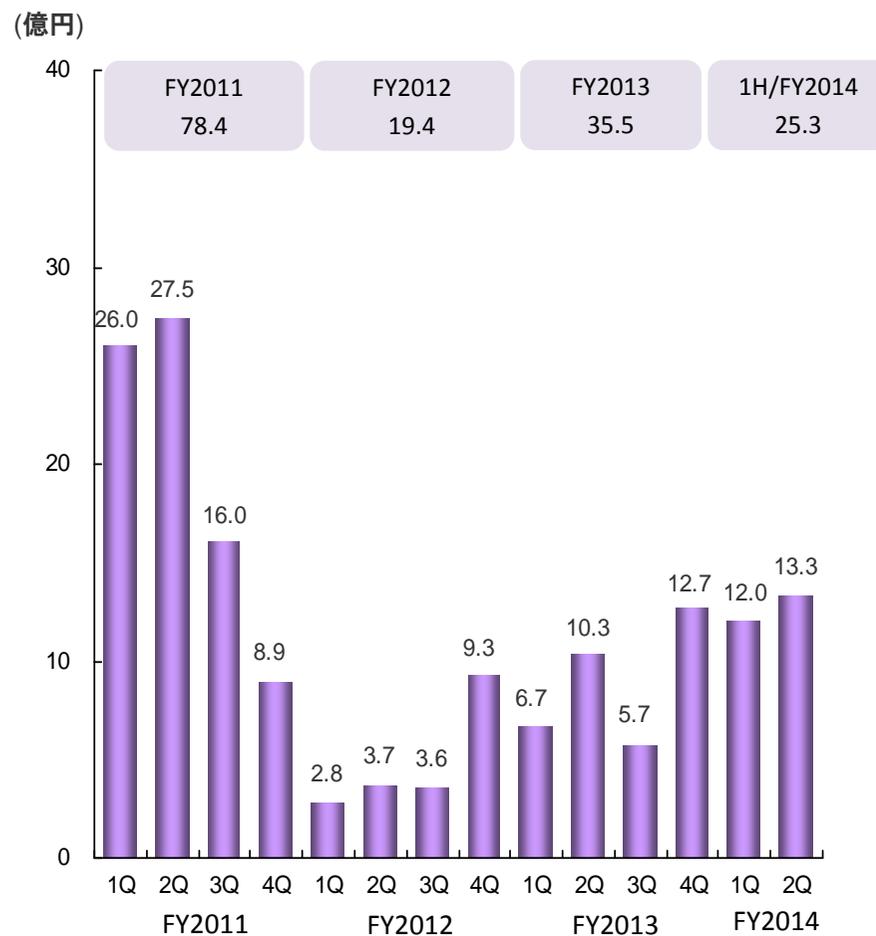


借入金・リース債務残高

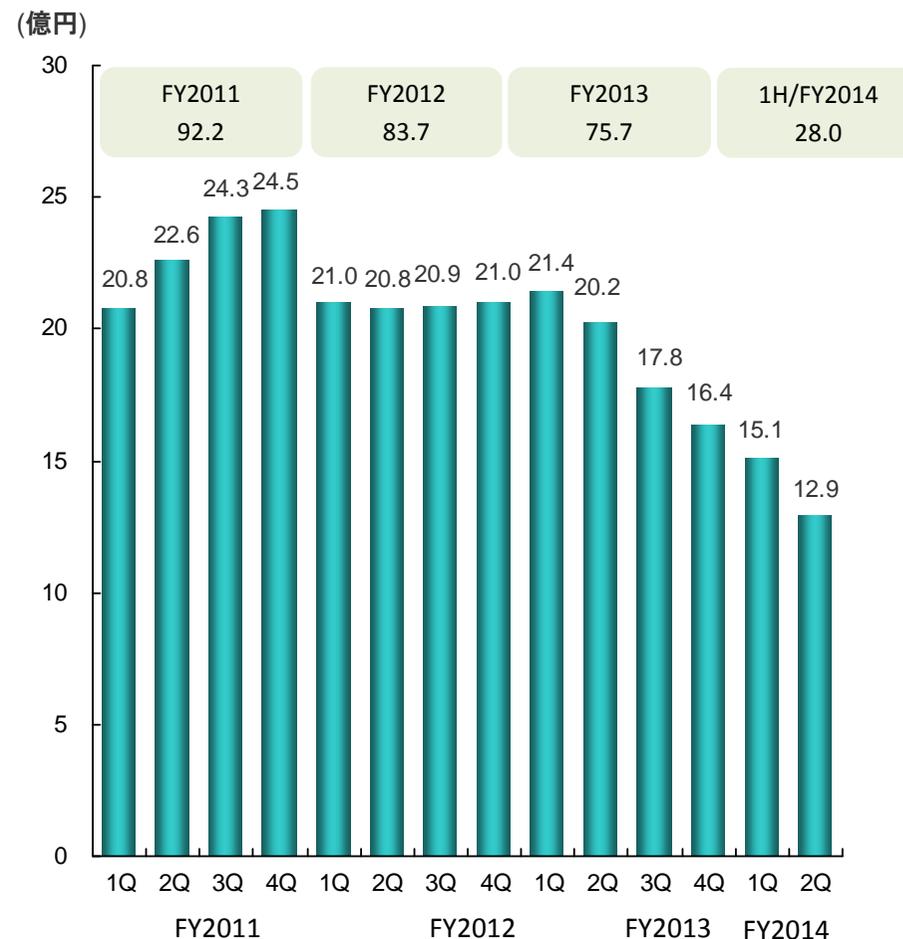


設備投資及び減価償却

設備投資額推移



減価償却費推移



2015年3月期 第2四半期のトピックス

海外展開の進展

- 台湾子会社TeraPower Technology Inc.における四半期の売上高がメモリ事業、システムLSI事業ともに過去最高を記録

国内市場の開拓

- システムLSI事業の国内テスト受託においてもマイコンなどの伸びにより、四半期の売上高が過去最高を記録

新技術への取り組み

- 組込み機器向け顔認証ソフトウェア・ライブラリ「TeraFaces™」の評価版を販売開始

2015年3月期第3四半期業績予想

2015年3月期 第3四半期業績予想の概要

メモリ事業

- 受託数量は堅調に推移するものの、テスト時間の短縮が進み、弱含みで推移と予想

システムLSI事業

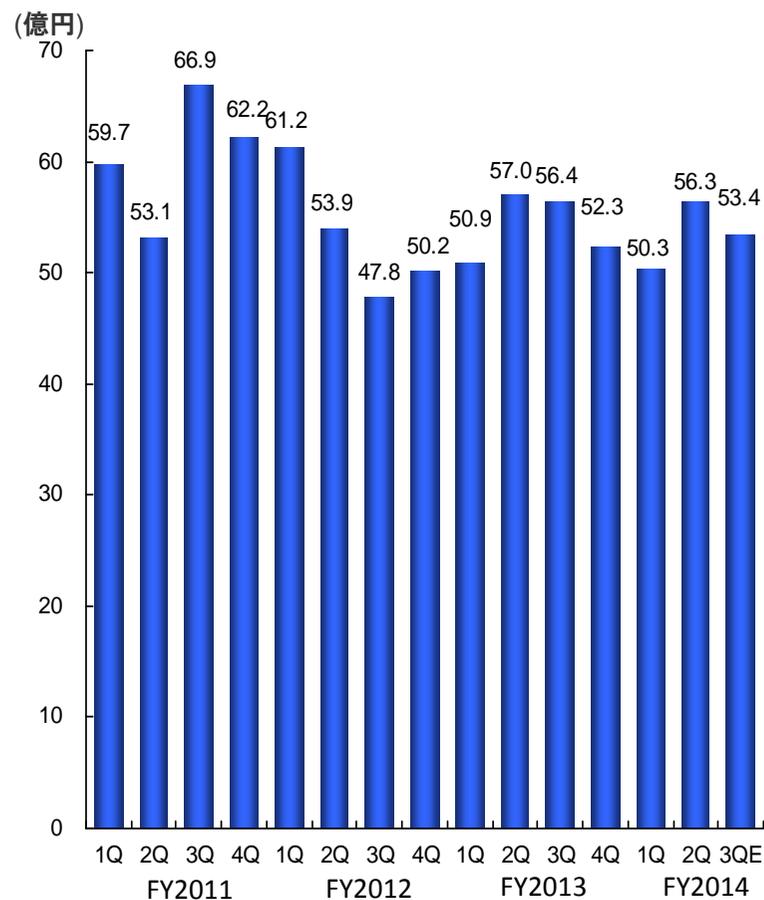
- テスト受託、WLP・BUMP受託ともやや弱含みと予想
今年度で完了予定の青梅事業所の構造改革に伴い、特別損失約4億円を計上する見込み



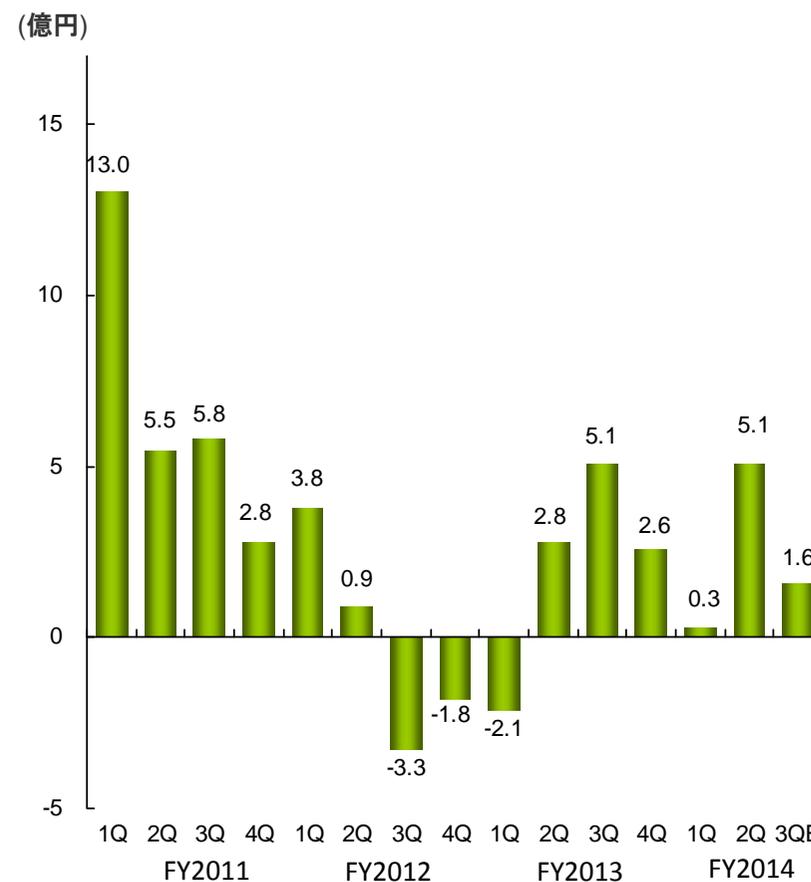
前四半期に比べ、売上高、利益とも減少

売上高及び営業利益推移

売上高推移



営業利益推移



当社グループが属する半導体業界は市場環境が短期間に変化するという特徴があり、1年間の業績予想を作成することが困難であることから、連結業績予想は翌四半期のみを開示することといたします。

本資料における注意事項等

- 本資料は投資家の参考に資するよう、株式会社テラプローブ(以下、弊社)の現状を理解していただくために作成したものです。
- 本資料に記載された内容は、発表時点において一般に認識されている経済・社会等の情勢及び弊社が合理的と判断した一定の前提に基づいて作成されておりますが、経営環境の変化等の事由により、予告なしに変更される可能性があります。
- 投資を行う際は、必ず弊社が開示している情報をご覧いただいた上で、投資家ご自身の判断において行っていただきますよう、お願いいたします。

【本資料及び当社IRに関するお問い合わせ先】

株式会社テラプローブ
コーポレートプランニング・IR部門
TEL (045)476-5711
URL <http://www.teraprobe.com>